

B5自己評価総括表(公表分)

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	よい子のお家いが		
○保護者評価実施期間	R 7年12月 1日		~ R 7年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R 7年12月 1日		~ R 7年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会への巣立ちが迫っている児童の療育に特化した事業所である	支援学校生徒の中学生以上を対象とした事業所として児童を受け入れており、他の事業所とはかなり療育内容も違いがある高等部の2年生3年生も在籍し社会人としての自立を目指した訓練に特化している	事業所のスタンスが徐々に理解され、本事業所で訓練を受けたい児童の申し込みも有り、今後も自立を望む保護者と共に歩んでいける事業所として育てていきたい
2	児童一人一人の特性を理解し、何が出来る何が出来ないかを明確にした中でカリキュラムを組んで訓練を行っている	児童の現在値を把握し、社会人としてのマナーや一般常識としての適切な行動が取れるように個々の分析を積み重ね、評価を行い、指導カリキュラムに沿った指導を心がけている	まだまだSSTを前面に打ち出した、訓練指導を始めてから2年強の期間こそなく手探りの状態ではあるが、児童との時間を過ごす中で徐々に定型化した基本が出来つつあり、今後は臨機応変な対応を心がける中で指導マニュアルの完成を達成したい
3	児童の特性に合った施設外での経験を積み重ね、実社会での経験により、より一層膨らみのある指導となるように色々な経験を積み重ねている	施設外経験としては、野菜果物の食物教育、調理教室の開催、買い物体験、公共交通機関の利用、郊外へのお出掛け、高齢者施設との交流会の実施などなどの今まで経験したことのない場面を多く学ばせる事を心がけている	社会経験の積み重ねがそのまま社会人として通用できるとは考えていないが、発達に特異性のある児童が少しでも社会人として世の中に巣立つことを願って、職員一人一人が客観的に児童を分析し、時には熟く児童に接しており、その思いを今後も尊重して行きたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者との交流や意見交換・情報共有は頻繁に行い、相談体制も整ってはいるが、高学年児童の保護者の場合、ある程度自分の子供に対してのイメージが出来上がっており、その殻を破るのが難しい。まだまだ発達の余地が十分にある事を理解して頂き、新しい療育指導を発展させていきたい	頻繁な情報発信や保護者との接触の機会を増やし、自分の子どもがいかに頑張っているか、どのように成長したかの内容をお伝え出来ればと願っている	個人情報に抵触するため第三者の目に触れないように留意しながら、成長の証を保護者にきめ細かく伝えて行きたい
2	SSTの本質を理解していただくことが難しく、実績の積み重ねが説得の材料になるのではと考えている	SSTの取組やその指導効果が伝わるように、ペアレントに対するトレーニングや啓もう活動を行って行きたい	対外的にもSST実施訓練内容とその成果を多くの関係機関にお知らせ出来ればと願っている
3			